（様式２）

令和　　年　　月　　日

誓　約　書

　山形県庄内総合支庁長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　所在地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者職氏名

　令和７年度飛島関係人口創出・拡大事業実施業務の公募型プロポーザルに参加するに当たり、次に掲げる事項について相違ないことを誓約します。

１　地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の４第１項の規定に該当しない者であること。

２　山形県税（山形県税に附帯する税外収入を含む。）又は消費税を滞納していない者であること。

３　雇用保険、健康保険、厚生年金保険等の社会保険に加入している者（加入する義務のない者を除く。）であること。

４　山形県競争入札参加資格者指名停止要綱（平成15年４月１日施行）に基づく指名停止措置を受けていない者であること。

５　会社更生法（平成14年法律第154号）、民事再生法（平成11年法律第225号）の規定に基づく更生及び再生手続きをしていないこと。

６　山形県内に事業所（本店、支店又は営業所）を有し、当該企画提案募集又はこれに類する業務を営んだ実績がある者であること。

７　次のいずれにも該当しない者であること。

（１）法人等の代表者等（法人の場合は法人の役員（非常勤役員を含む。）、支配人及び営業所の代表者、団体の場合は理事等法人の場合と同様の責任を有する者を含む。）が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77号）第２条第６号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から５年を経過しない者（以下「暴力団員等」という。）であると認められる者

（２）暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる者

（３）役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員等を利用する等したと認められる者

（４）役員等が、暴力団又は暴力団員等に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的あるいは積極的に暴力団の維持及び運営に協力し、又は関与していると認められる者

（５）役員等が暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者